

***** 混 相 流 *****

Vol. 2 No. 3 1988

目 次

【巻頭言】

- 化学工学と混相流 外山茂樹 181

【挨拶】

- 会長就任のあいさつ 赤川浩爾 182

- 編集委員会から 深野 徹 183

【総説】

- 気液二相流研究史と関連技術 一気液二相流研究史の私感一 赤川浩爾 185

【解説】

- 高濃度石炭水スラリ(CWM)の研究 松野善之・金子祥三・船津博之 203

【論文】

- 固液二相乱流境界層の測定 辻 裕・光吉 浩・田中敏嗣・森川敬信 215

【学会だより】

- 第7回混相流シンポジウム 第1回混相流インターナショナル・

- レクチャー・コースを終えて 斎藤孝基 226

- 第1回混相流インターナショナル・レクチャー・コースに参加して 高木茂男 227

- 第7回混相流シンポジウムとインターナショナル・レクチャー・

- コースに参加して 長崎孝夫 228

【国際会議だより】

- 二相流ダイナミックスに関する日米セミナー 深野 徹 231

【海外情報】

- 中国重慶でのPhase Change Heat Transferの国際会議報告 茂地 徹 234

【研究室紹介】

- トロント大学化学工学科 M.Kawaji 237

- 【会告】 240

- 【維持会員名簿】 249